

コくほの果てまで
イッテQ!
謎解き探検in谷田部

6班

班員：上山滉介 岡野勇太 鈴木颯子
迫屋景亮 入安ディリ 角田圭梧 及川智也
指導教員：松原康介 TA：渡邊智也

目次

- 1.研究動機
- 2.調査方法
- 3.文献調査
- 4.ヒアリング調査
- 5.地図調査
- 6.提案

6 班のテーマ：つくばの都市計画史

【私たちが考える「つくば」】

近代的な研究学園都市



【もうひとつの「つくば」】

研究学園とは異なる雰囲気集落



昔からこの場所に暮らしてきた人たちにとっての
「都市計画」とはどのようなものなのか

研究動機



「ヤタヘ(谷田部)」と記述がある！

伊能忠敬によって作られた地図 (1827年頃)

古地図を覗くと、現在のつくばの位置には「ヤタヘ」という地域が代表格として描かれている

現在では小さな集落のようなイメージのある谷田部だが・・・？

歴史ある賑わいのあった町だったのでは？

谷田部の概要

- 茨城県つくば市南西部に位置
- 面積：約**5.608km²**
- 人口：**6,631人**（2022年11月時点）
※参考 天久保一丁目二丁目三丁目では
面積：約1.805km² 人口：4,435人
- 市街地は旧谷田部町の中心として発展
- 陣屋町として栄えたこともあり
歴史の残る建物や名所が残る



先行研究



・小口千明, 高橋淳, 上形智香, 新宮千尋, 中川 紗智. 茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい. 歴史地理学野外研究. 2014, vol6, p63~97 .

→谷田部の「にぎわい」を歴史的視点から検討

・高橋 伸夫, 村山 祐司, 松村 公明, 吉村 忠晴, 側島 康子. つくば市における商業地域構造の変化. 地域調査報告. 1992, vol14, p43-64.

→既存の商業地区と新たな商業集積地における活動の変化

すでに行われている活動

- 筑波大学藤田研究室による「R8ロゲイニング」

→地域の宝探しゲーム

つくばの周辺市街地の
理解が深まる取り組み
事例

つくば R8 アイデアソン採択事業 筑波大学社会貢献プロジェクト採択企画

イガテック & 筑波大学 Autumn Fair Year 2022

in 谷田部 オータムフェア 2022

新型コロナウイルス対策のため、マスク着用の上ご参加ください。

10:00~ ロボットゲーム 抽選りゲーム /	10:00~ AR ロゲイニング ロゲイニング /	17:00~ プロジェクションマッピング 伊賀七色コラボ /	
ステージイベント 吹奏楽演奏 /	物産展 産地直送野菜 /	骨董市 骨董品 /	フード おいしい食べ物 /

11.06 (日) 9:00 ~ 15:00 (17:00~)

会場 市民ホール谷田部横 ふれあい広場
※ 谷田部交流センター横の駐車場をご利用ください。

主催：IgaTech・筑波大学 藤田研究室
協力：つくば市周辺市街地協議会・つくば市商工会・つくば工科大学ロボット工学科・沼尻WEBデザイン事務所

主催：谷田部市街地活性化協議会、区長会谷田部支部
共催：筑波大学 つくばR8ロゲイニング
協力：つくばくらしの会、つくば市商工会女性部

筑波大学社会貢献プロジェクト つくばR8地域活性化プロジェクト採択事業

谷田部 ワクワク物産展 & つくばR8ロゲイニング

11/27(土)・28(日) 9:00~16:00
ロゲイニングは11/28(日)のみ

会場：アラキヤ<伊賀七庵> つくば市谷田部2983

優先参加申込

ロゲイニングは「町の宝探しゲーム」だよ。街歩きや散歩が好きなお人、写真が好きなお人、子ども大人も皆が楽しめるよ！

両日とも小雨の場合は開催します。お車で来場の際はふれあい広場(谷田部総合体育館)をご利用下さい。

晩秋の谷田部を満喫しよう 楽しい一日を一緒に！

谷田部ワクワク物産展 <楽しいお店が大集合！> 青果市、フリーマーケット、産直野菜、ばんちん、蕎麦・うどん(蕎麦は手打ち！)、焼き鳥、甘酒、その他	タイムテーブル <笑顔いっぱいワクワクの楽しい一日！> 09:00 オープニング 09:30 物産展オープン 10:00 イベントスペース ・映画・音楽 他
同時開催 イベント&わくわくブース <上映！映画！音楽！> 伊賀七庵公演の上装や映画、音楽、紙芝居など	10:00 ロゲイニングスタート 13:30 ロゲイニングゴール わくわくステージ ・伊賀七庵公演上映 ・ロゲイニング表彰式 他 16:00 イベント終了

当日のスケジュールは変更になる可能性があります

Facebook谷田部市街地活性化協議会 検索

つくばR8ロゲイニング 検索

高イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止の可能性がございます。

調査方法

- ・ 文献調査

→ 谷田部に関する書籍、先行研究の調査、古地図収集

調査ステップ

谷田部の歴史や
文化の調査

フィールドワークと
古地図の照らし合わせ

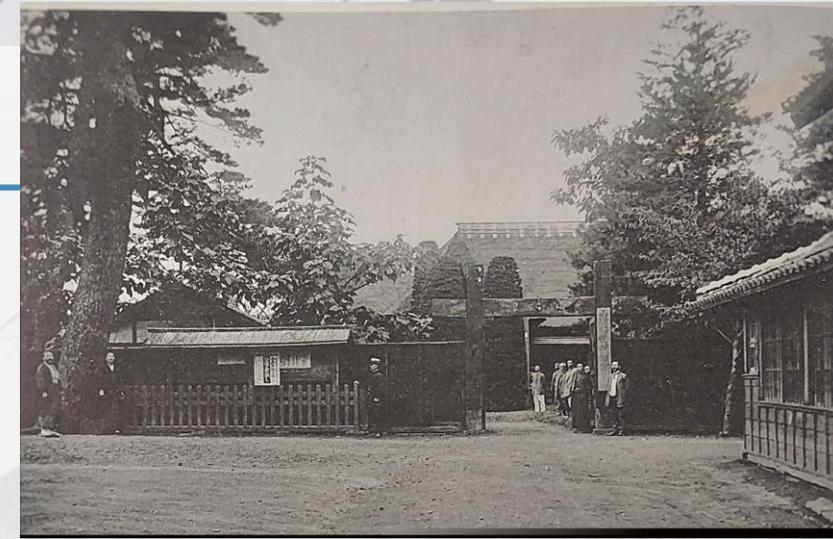
商業、農業、道路、
周辺地域など
テーマ毎に調査

文献調査

・ 谷田部の歴史

もとは政治と商業の中心地→陣屋、郡役所の存在

- ・ 集落形態は変化していない（中心施設→住居→農地）
- ・ 政治機能と商業機能の相互作用
…商業衰退の原因の一つとして政治機能を失ったことがあげられる
- ・ 役所の存在が都市機能を引き寄せた



筑波郡役所



警察署

交通の結節点として発展

- 江戸時代からの街道、周辺農村地域との交易によるもの

周辺地域（葛城村、島名村、小野川村、真瀬村）との
吸収合併（1955）

- 周辺地域との力関係が存在した

文献調査

庁舎の存在



谷田部庁舎（2012年に撤去済み）

- つくば市にあった八つの分庁舎の一つ
- つくば市合併から市役所移転までは対外的な市役所であった
- 長い間政治機能を持っていたが...**現在は政治機能を失う**

文献調査 農業

戦前

- 周辺が農地で囲まれた地域→「タニシ町」と呼ばれる

戦後

- 農地改革による自作農の増加

1960年
代

- 研究学園構想による地価の上昇

高度経済
成長期

- 工場誘致による兼業農家の出現

文献調査 商業

交通の結節点として周辺農地と交易が盛ん

→ 獣霊碑の存在からわかる



商店街中心の構造形態 全盛期 1980年ごろ



職住一体の産業構造

跡継ぎ問題の発生



商店街にある 獣霊碑

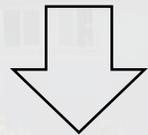
裏には商店街への寄付者の名前がつづられている

文献調査

- ・ 商業の残像と衰退の要因

古くからの商店街…食料品・娯楽施設・飲食店・医療機関など
多様な需要にこたえる

農地との交易が強く、交通量も多い街であったが…



中心地であった商店街は現在は住宅・駐
車場・空き地ばかり

なぜ衰退してしまったのか？



1980年代の商店街

文献調査 衰退要因の考察



① 研究学園都市の建設

- ・ 商業形態が変化
- ・ 1つの大規模施設に機能が集合

② モータリゼーション

車社会への対応の遅れ

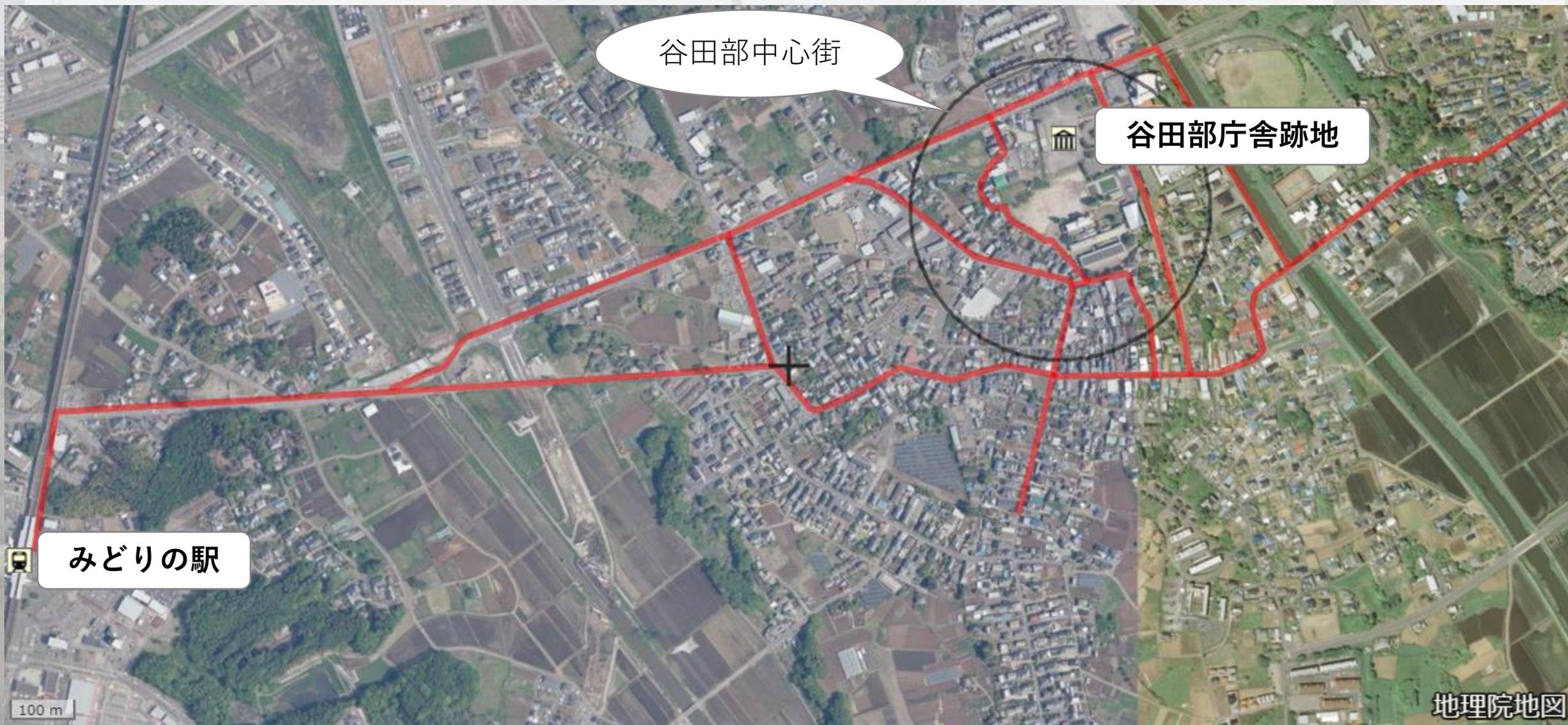
③ 行政機能の消失

つくば市合併後、市役所移転など機能が徐々に失われていく

④ 他の都市との交流

- ・ つくば市内の他の地域では土浦など主要都市と繋がり
- ・ 谷田部では南西部の地域に偏り

フィールドワーク対象地



フィールドワーク 歴史的建築物



• 五角堂

谷田部出身の科学者である飯塚伊賀七による建築物

五角形の形という特異な形であり、伊賀七の科学者としての業績を伝える貴重な資料



大切に保存されてきたことがわかる。
谷田部の象徴的な建築物と感じる。

フィールドワーク 歴史的建築物

・御殿玄関

谷田部陣屋のうち現存するのはこの玄関のみである。実際に存在した谷田部陣屋は面積約6,800坪で堀をめぐらし、120坪の陣屋であった。現在は小学校舎が跡地にある。

保存状態が非常に良い印象。
谷田部の大切な遺産として何か活用が
できたらよいと感じた。



フィールドワーク 歴史的な道

・千歳通り

「町の庭」としての広場の機能と人、自転車、自動車を安全に通行するための「序列共用道路」としての機能を持つ。（千歳通りの看板より）

商店街から旧市役所への道として交通量が多かった。

現在でも町のイベントなどで使われる。

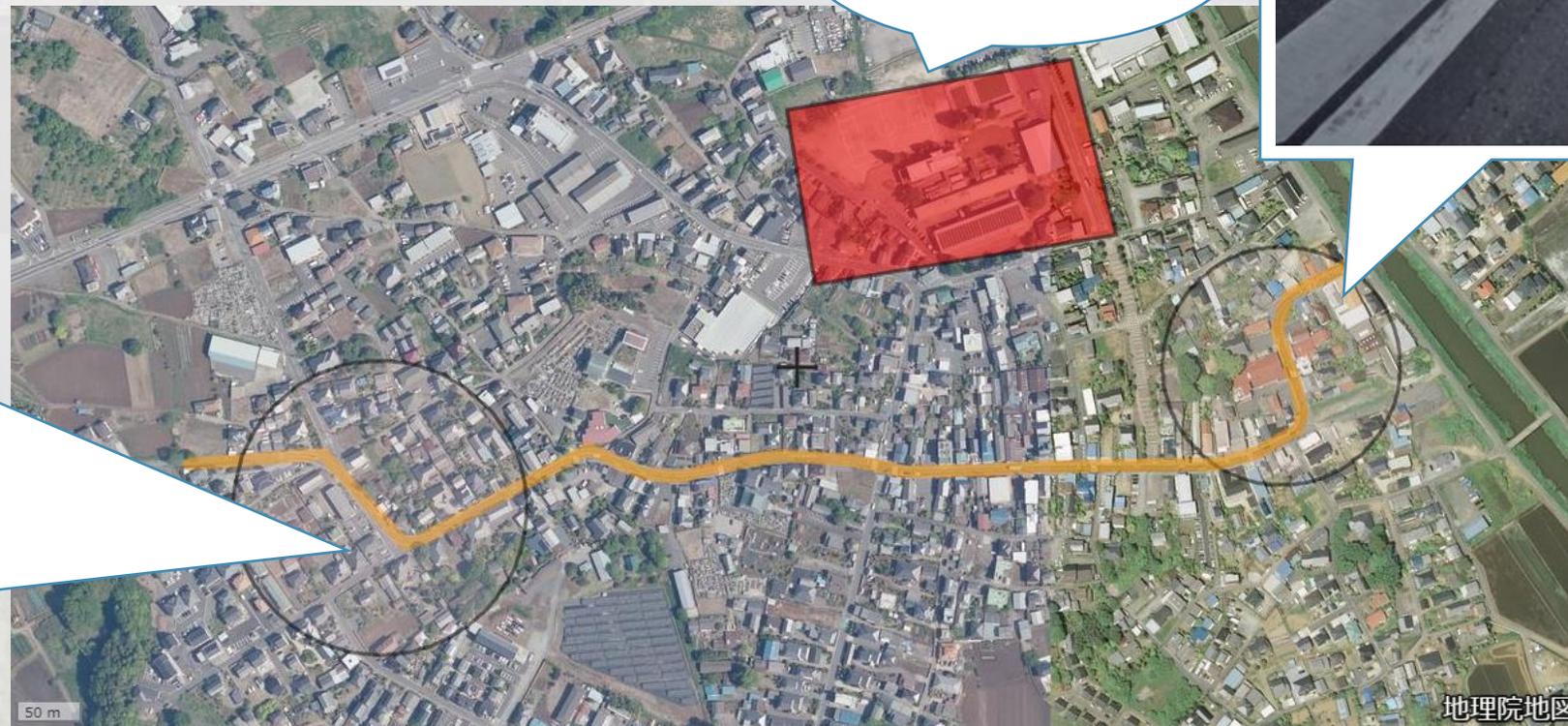


フィールドワーク 陣屋町の名残

- 商店街の道路

現在の商店街の道路には陣屋の存在を思わせる
鉤型道路が残る。

敵からの侵入を防ぐ見通しの悪い道路



陣屋があった
場所



ヒアリング調査

- 商店街の方々にヒアリング
- 主な質問項目
- 過去の谷田部の様子や賑わいについて
- 過去と比較した谷田部の現状に対する考え
- 賑わいを戻すには、
またはそれ以外の道があるのか
- 谷田部の魅力、おすすめの場所
と問題点



沼屋本店

ヒアリング調査

- 高野屋商店



みどりの駅周辺の商業施設

商業の中心は**みどりの駅周辺**に移動して、商店街では店舗を住宅に建て替えるなど住宅地になっている。
お祭りなどの催事的时候には**地域一丸**となって動く街。



高野屋商店店主



玉川堂外観

玉川堂店内



ヒアリング調査

- ・昔は川のところまで商店街で、
ぜんぶお店だった。
- ・いまは、お客さんはうちに
用事がある人しか来ない。
- ・うちも、土浦や学園の方のお客さんに頼ま
れて作って配達することが多い。そのあたり
にはもう和菓子屋さんが残っていないから…

玉川堂(和菓子屋)のおばあちゃん



ヒアリング調査



・万博くらいまではこの商店街もにぎやかだった。そのあとの時期に私たちの子供の世代(僕たちの親くらいの世代)が町を離れ、一気にさびれていったという印象。

・どちらかということ人が来ないから廃業というより、**廃業したから人が来なくなった**感じ。

・**この道はもともと車どおりが多く、歩く人が多い道ではなかった。**昔から車で来る人が多かった。

玉川堂に来ていたお客さん



だるま屋の自動販売機



購入した「もつ煮込み」



ヒアリング調査から考える

- 谷田部の魅力としてほぼ全員が人柄と回答



- 実際ヒアリング調査にも協力的
- ヒアリング調査をしなければわからなかった事実

- 意外にも研究学園都市が直接的な衰退の要因だとは認識していない



- 後継者問題や商業の中心の移動など複合的な要因のそれぞれに間接的に関わっているか

ヒアリング調査から考える

つくば市の発展で、業務が多岐にわたり
大変な個人商店以外の働き口が出現



世代交代に失敗し廃業する商店が多く
商店街から客足も遠のく

ヒアリング調査から考える

どのお店も飲食店等への食品配送業務を昔からの店舗の営業と並行して行っていて段々配送の業務にシフトしている。



様々な要因で賑わいが別の場所に移っていった今も、長年の実績が信頼されているのだろう。また、大通りが整備されたのも配送の仕事が増えた理由の一つと考えた。

地図の比較



年代

- 1989年
- 1997年
- 2022年

比較対象

- 飲食店
- 商店
- 農地

地図の比較 飲食店



地図の比較から考える 飲食店



1989年

- 主に商店街沿いに存在

1997年

- 国道・県道沿いにも出現
- 全体的に数が増加

2022年

- 減少 特に商店街地域で激減
- 新規飲食店は大通り沿い

地図の比較 商店



地図の比較から考える 商店

1989年

- ほぼすべて商店街中心部に立地
- 密度も高く賑わっていたと考えられる

1997年

- 商店街が東西に広がり大通り沿いにも立地
- 密度は下がるが街の規模は大きくなったか

2022年

- 商店街周辺は減り、サイエンス大通り沿いは増えた
- 谷田部庁舎の移転が影響したか

地図の比較 農地



地図の比較から考える 農地

1989年

- 谷田部地域の大半が農地
- 国道354号線の北西、県道3号線の西に多い

1997年

- 1989年と大差なし

2022年

- 大幅に減少
- 谷田部川流域に新たな農地

ここまでの調査から考える

地図の比較から

谷田部は
衰退して
いる



ヒアリングから

谷田部の
人は温か
く協力的

谷田部を盛り
上げるイベン
トを提案する

谷田部商店街に再び賑わいを①



江戸時代の谷田部

- 小規模ながら城下町が存在
- 交通・交易の要所
- 賑わいがある町

現在の谷田部商店街

- シャッター街
- 人通り少ない

交通の要所だった=アクセスはいい

前述インタビューより、谷田部商店街に人が来るポテンシャルはある！

谷田部商店街に再び賑わいを②



- 人々に商店街を「歩いて」もらう。

- 商店街を歩く



- 休憩
- 食事
- 買い物 が発生



①人が増える

②お金が落ちる

= 活性化

商店街へ来る人を増やすには

- 商店街に来る動機=物を買う、イベント参加、人と話す

- 地元の特産物を揃える
- 商店街オリジナル商品
- 商店街に新しい店

- 空き店舗でイベント
- お祭り
- フリーマーケット
- 日曜日
- 国際交流
- 学生と提携

- 公園設置
- ベンチ、テーブル設置

谷田部商店街 地図

1619年築by細川興昌

今は陣屋の玄関が
この場所に
移されている



谷田部陣屋跡



創業150年の醤油蔵元。
名産の福来みかんを
つけたポン酢は
つくばコレクション
選出の名品

天才・伊賀七の代表作。
県史跡。
上から見る
と五角形



五角堂

玉川堂

沼屋本店

スドウ酒店

八坂神社

つくばチキン

だるま家

焼き鳥おでん
もとます

住民に愛されて120年。
谷田部のおやつには
欠かせない存在。
黒大福は絶品



今年7月オープンの
弁当とお惣菜のお店。
店の前には変わり種自
販機が！

鶏肉専門店。

ローストチキン、
炭火焼き鳥、
からあげ等々
鶏肉料理が揃う。





活気のある町へ

現在の活動『オータムフェアin谷田部』



谷田部で年に一回秋に行われる

地域交流イベント

2022年のフェアでは筑波大学の藤田研究室とコラボしたARを使った催し物や谷田部の文化をモチーフしたプロジェクションマッピング、物産店、ステージイベントがあった

事例 つくいち

つくいちとは、つくばで月に一回
行われるつくば市民を対象にした市場

“生産者と消費者が触れ合える場をつ
くりたいという思い”をもとに2008年
よりつくば市民により企画、開催

つくば駅前公園などの広場で開催



谷田部 de マーケットの提案



谷田部で採れた
野菜

生産者と消費者
が繋がれる

車通りの少ない
千歳通り



分解しやすく
建てやすい露店

つくば市の特産品
や飲食店

月2～3回開催

谷田部 de マーケットのイメージ

谷田部 de マーケット 出店案



- 谷田部にある、醤油屋・和洋菓子店・唐揚げ屋・酒屋などの販売 JA谷田部に売り出されている農産物
- つくば市の飲食店や果物、パンなどの加工食品、ハンドメイド品などのその他の物品



玉川堂の和菓子



沼屋本店のポン酢



つくばチキンの唐揚げや焼き鳥

谷田部 de マーケット 有用性



谷田部 de マーケット 効果



市内外からの
訪問者増加

谷田部について
知ってもら
える機会に

コミュニティ
の形成

マーケット自
体が谷田部の
魅力へ



衰退を止める歯止めに！

謝辞



インタビューにご協力いただきありがとうございました。

- つくば市商工会企画指導課 口田様（メールインタビュー）
- 高野屋商店 高野様（口頭インタビュー）
- スドウ酒店 須藤様（口頭インタビュー）
- 沼屋本店 沼尻様（口頭インタビュー）
- 玉川堂 玉川様（口頭インタビュー）

参考文献



- 谷田部の歴史編さん委員会. 谷田部の歴史. 谷田部教育委員会. 1975
- 小口千明, 高橋淳, 上形智香, 新宮千尋, 中川 紗智. 茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい. 歴史地理学野外研究. 2014, vol6, p63~97 .
- 高橋 伸夫, 村山 祐司, 松村 公明, 吉村 忠晴, 側島 康子. つくば市における商業地域構造の変化. 地域調査報告. 1992, vol.14, p43-64.
- 小口千明, 川崎俊朗, 高橋淳, 三津山智香, 菊凜太郎, 木村遼之, 藤野哲寛, 王君香, 桜木真理子. 近現代茨城県旧筑波郡および谷田部市街の活況とその後. 歴史地理学野外研究. 2016, vol.17, p59-94.
- 藤沢官兵衛. 勘翁自伝：八十五歳のうは言. 勘翁自伝刊行委員会. 1990
- 新井鎮久. 筑波研究学園都市開発における農家対策の実態とその規定要因. 地理学評論. 1972, vol.45, no.6
- つくば市. 谷田部市街地の特徴. つくば市: https://www.city.tsukuba.lg.jp/_res/projec